

2021年3月2日(火) 若手牧師研修会
「牧師と交友関係」(田辺寿雄)

I. 序論

- A. 「牧師ほど、孤独な職業はない」
- B. 言葉の整理
 - 1. Aloneness
 - 2. Loneliness
 - 3. Solitude
 - 4. Isolation

II. 私に与えられたこれまでの交友関係

- A. 学生時代
 - 1. 教会…同世代の友
 - 2. 大学…他教会のクリスチャン友人
 - 箴言27:17「鉄は鉄によって研がれ、人はその友によって研がれる」
- B. 神学生時代…同期の友
 - 箴言17:17「友はどんな時にも愛するもの。兄弟は苦しみを分け合うために生まれる。」
 - ピリピ2:25「私の兄弟、同労者、戦友であり、私の必要に仕えてくれたエパフロデイト」
- C. 留学生時代…同居の友
 - 箴言13:20「知恵のある者とともに歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害を受ける。」
- D. 宣教師時代
 - 1. メンター
 - 箴言18:4「人の口のことばは深い水。知恵の泉は湧いて流れる川。」
 - 2. 交わりの友
 - 詩篇133:1「見よ。なんという幸せ なんという楽しさだろう。兄弟たちが一つになって、ともに生きることは」2「それは、頭に注がれた貴い油のようだ。」3「それはまた、ヘルモンからシオンの山々に降りる露のようだ。」
- E. 牧師時代…同労者
 - 1. 京都西教会時代
 - a) 伏見教会での交わり
 - b) 二人の牧師とメル友
 - 2. 王寺教会時代
 - a) 奈宣協
 - b) 南地区の牧師との交わり
 - c) 趣味の友
 - 3. 委員会

●ヘブル10:24「また、愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。25ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょう。」

●ヘブル3:13「今日」と言われている間、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされて頑なにならないようにしなさい。」

III. 牧師と友人

- A. 聖書的に：聖書が教えている、それに従う必要がある。
●創世記2:18「人がひとりであるのは良くない。」
- B. 社会的に、信仰的に：友人を必要としている。
- C. 孤立化からくる危険から守られる必要がある。
1. 「人と一緒にいることに伴う危険よりも、ひとりであることに伴う危険の方が、もっと深刻。」
2. 孤立化からくる危険とは？
- D. いたらいいなあ、、、（少数でもいい、でもできれば複数名）

IV. 宿題：自分のために、、、

- A. これまでに与えられている友人をリストアップしてみる。
B. 今現在、どんな友人がいるか。
C. 今現在（これからのためにも）、どんな友人が必要か。
D. 誰の友達になれるか。

V. グループ・ディスカッションのガイド

- A. 基本的には今日思ったことや教えられたことなどを自由に分ちあってください。それ以外のことを分かち合ったり、祈り合ったりしてもらっても構いません。
- B. 時間があれば、以下の質問について考え、自由にディスカッションしてみてください。これら以外のことについて話し合ってももちろん結構です。
1. 牧師は孤独な職業である、ということについてどう思いますか？どうして孤独なんですか？
 2. 牧師が孤立化した時の危険について、どんなことがあると思いますか？
 3. 今与えられている友人は、どんな存在ですか？
 4. 今の自分、これからの自分のために、どんな友人が必要と感じますか？
 5. 交友関係について、男性と女性、既婚者とシングルでどんな違いがあると思いますか？
 6. 牧師が孤立しないために、教団や教区で何ができると思いますか？